

むつ市地域おこし協力隊活動状況報告書

むつ市長 宮下 宗一郎 殿

隊員氏名 小池 拓矢

次のとおり活動したことを報告します。

【活動報告月：2022年12月分】

1. 実施した活動の概要・状況

12月は、「下北ジオパーク学習・活動発表会」で、地域おこし協力隊やNPOの活動を発表したほか、ZOOMで開催された協力隊の全国研修会にも参加した。また、他の隊員が中心となって開催した「下北ワインとジャズの夕べ」や若者育成事業の「冊子完成発表会」などのスタッフも行った。

（主な活動）

◇12月3日（金）下北ジオパーク学習・活動発表会

プラザホテルむつで行われた「第6回 下北ジオパーク学習・活動発表会」で、今年度の協力隊の活動やむつ市海と森ふれあい体験館のジオパークに関わる展示などの発表を行った。発表は協力隊員3名で行い、むつ市長からはオリジナリティのある活動をどんどん行ってほしいとの講評をいただいた。また、各学校の子どもたちの発表は、今後の体験館内での教育活動などの参考になった。

ジオパークと私たちの活動

「ジオパークは、歴史と現代社会における地域の地質遺産の重要性について意識を高めることで、**地域住民が自分たちの地域に誇りを持ち、地域と住民の一体感を強化します。地域の地質資源を保護しながら、ジオツーリズムを通じて新たな収入源を生み出し、革新的な地元企業や新しい雇用、質の高い研修の機会を創出します。**」
(日本ジオパークネットワークHPより)

これまでの私たちの活動は、協力隊という「よそ者」目線で、地域の魅力について伝えてきました。
初めてイルカを見る子や初めてホタテを「ほやく」子など…子どもたちが**地域を知り、誇りを持つための活動**を今後も継続していきたいと考えています。

⇒継続的な活動のためには、**資源を保護しながら、新たな収入源を生み出すことも必要**

むつホタテフェスティバルのほやく体験には100人が参加

発表したスライド

◇12月22日（木）、23日（金）地域おこし協力隊 ステップアップ研修会

Zoom 開催された地域おこし協力隊の全国研修会に参加した。内容はおもに活動の2年目の隊員に向けた出口戦略に関するもので、協力隊として行ってきた活動をどのように地域に持続させるかという「地域側の出口」と、活動終了後の起業や就職をどうするかという「隊員の出口」についての研修が行われた。

活動終了した隊員とともに活動の Facebook ページも更新が止まってそのまま残されてしまう「Facebook のゾンビ化」や、活動の協力者を募るときに、単に「地域のために」とお願いするのではなく、協力したくなるような目的（インセンティブ）を用意することが必要などの話は、自らの活動に大いに参考になった。

また、グループワークの中で、実際に協力隊の活動終了後に起業を行った方が、銀行への借入をどのように行ったかなどの具体的な話をしてくださったため、こちらも自分が起業を考える上での参考となった。

2. 翌月の活動予定

1月25日（水） 一般財団法人 VISIT はちのへ訪問

1月28日（土） 下北地域県民局「地域プレイヤーの活動を広げるネットワークづくり」参加